

## 国保ヘルスアップ支援事業(平成31年度予定)

### 事業内容

- ◆ 医療費適正化に向けた保健事業の推進強化が急務であり、「保健事業の重点化」、「市町村保健事業への支援の強化」の枠組みで事業を具体化。
- ◆ H30年度においては、「地域差見える化支援事業」、「対象者抽出ツール開発」を実施。
- ◆ H31年度においては、H30年度に作成配付した成果物を用いて、市町村が、分析に基づき対象者をターゲティング、抽出を行う効率的・効果的な保健事業を展開できるように支援を行う。
- ◆ また、「②保健事業の重点化」の観点から、糖尿病性腎症重症化予防について、市町村アドバイザーを配置する事業を創設する。
- ◆ H30年度に創設された「都道府県ヘルスアップ支援事業」(国庫10/10交付)を活用する。

H30 都道府県ヘルスアップ創設  
(共同保険者として市町村を支援)

H31 市町村へ情報を提供し、効率的・効果的な保健事業を支援  
医療費適正化の観点から、定期的・計画的な指導助言

市町村のデータヘルス推進を支援

- ◆ 地域差見える化支援事業
- ◆ 対象者抽出ツール開発

◆ データを活用した保健事業の推進事業

課題のある市町村の保健事業を底上げ

◆ 市町村保健事業への介入支援事業

報告会の実施  
(横展開)

市町村の取り組む生活習慣病重症化予防策の強化

◆ 糖尿病性腎症重症化予防アドバイザー事業

報告会の実施  
(横展開)

有識者による市町村保健事業への継続的な助言と評価

◆ 大阪府ヘルスアップ支援推進会議設置

◆ 推進会議の開催(年5回) 介入支援チームの設置

# 大阪府・国保ヘルスアップ支援事業

## (1) データを活用した保健事業の推進事業

「地域差見える化支援ツール」「保健事業対象者抽出ツール」の利活用セミナーの開催  
⇒保健事業にデータを有効活用する手法の研修

- 利活用セミナー(市町村向け)
  - ・マニュアルによる説明
  - ・他の保険者等のデータヘルス例(協会けんぽ等)
  - ・推進会議委員による利活用の助言
- グループワーク(市町村向け)

助言

## (2) 市町村保健事業への介入支援事業

有識者(推進会議委員)が健康指標又は取組状況に課題のある市町村に個別支援を行う。(5市町村、有識者2名/市町村)

- 市町村内の地域における固有の特徴、課題、対応策について分析・検討。
- 実施イメージ
  - ✓ 1回目 現状のヒアリング
  - ✓ 2回目 課題の特定、原因の分析(データシミュレーションを実施)
  - ✓ 3回目 具体的な対応策の検討
  - ✓ 4回目 具体的な対応策の助言

介入・助言

## (3) 糖尿病性腎症重症化予防アドバイザー事業

次の市町村向けにアドバイザーを配置  
・新規に事業を開始(努力支援制度の評価獲得)  
・人工透析予防等重度者への対策を実施(医療費適正化)

- ブロック単位での学習会開催(5地域)
- アドバイザーの配置
  - ・個別ケース・事業実態を踏まえた技術的支援
  - ・地区医師会、かかりつけ医との関係性の構築支援
  - ・所管保健所との連携

助言

## (4) 大阪府ヘルスアップ推進会議

市町村の実施する保健事業に関し、評価・助言を有識者により行い、効果的な実施を支援するため引き続き運営(H30年度設置)

- 利活用セミナーでの助言(当日の講演)
- 介入支援事業において、個別市町村への介入支援を実施するとともに、取り組みを共有し助言
- 糖尿病性腎症重症化予防アドバイザー事業への助言

### 【開催予定】

- 第1回 年度の方針
- 第2回 介入支援取組の方針
- 第3回 介入支援チームの報告
- 第4回 糖尿病性腎症重症化予防アドバイザー事業への助言
- 第5回 年度の事業報告・評価、次年度の取組